

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センターあすいろ		
○保護者評価実施期間	令和8年2月13日		～ 令和8年4月11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51名	(回答者数) 45名
○従業者評価実施期間	令和8年2月13日		～ 令和8年2月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 15名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職種や他職種の連携ができています。	・専門職種による活動プログラムの作成、または個別の訓練を行っており、集団でできなかったことを個別で、個別でできたことを集団で般化、と言う流れができています。	個別訓練での訓練内容や達成状況について、職員間での共有にばらつきが見られるため、今後は訓練担当職員からの発信機会を増やし、情報共有の充実を図る。これにより、個別支援の内容を集団療育プログラムへ効果的に反映するとともに、就学後の適応を見据えた一貫性のある支援の提供を目指す。
2	午前の部、午後の部と入れ替え制で行っており、年齢に応じたプログラムを作成している。	・活動前後には振り返りのミーティングを行っており、児童ひとりひとりの目標と課題を確認したうえで活動に参加している。	今後は、さらに個性の高い支援の実現を目指し、職員の専門性およびアセスメント力の向上を図る必要がある。そのため、利用者一人ひとりの特性や課題についての理解を深めるとともに、ミーティングや振り返りの場において継続的に情報共有を行い、共通認識の強化を図っていく。これにより、より適切で一貫性のある個別支援の提供につなげていく。
3	親子通所を行っており、保護者との関係性も築きやすく、日々の支援内容や児童の様子について密な共有が行える。	・活動後の振り返りでは保護者とともに支援プログラムの見直しを行っている。課題の共有だけでなく、できたことや成長した点にも着目し、保護者が児童の発達を前向きに捉えられるよう支援している。また、保護者自身の気づきや関わりの変化を促し、養育力の向上にもつながっている。	保護者支援では、子育ての中で頑張っている保護者への肯定的なフィードバックを意識的に行うことで、不安感を軽減し、子育てへの前向きな意欲の向上を図る。また悩みや不安を気軽に相談できる場としての機能を高め、保護者にとって安心して通所できる支援環境の整備を図る。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	午前の部、午後の部に分けられており、利用時間が少ない。保護者に送迎してもらっており、保護者のレスパイトになりづらい。	活動の質を上げるためには必要なことだと認識している。職員の休憩時間と振り返りの時間の確保のためには欠かせないが、保護者の利便性を奪っていることは認識している。	保護者が就業している場合は、園との送迎を行っており、保護者の状況に関わらず利用できるような配慮を行っている。
2	親子通所は保護者と児童で通うので、保護者の体調不良、兄弟の体調不良、児童自身の体調不良や学校行事等で、通園がキャンセルになりやすい。	就労している保護者が多いため、平日の親子通所に通える親子が少ない。また、単独通所は保護者にとって利便性が高いが、親子通所はともに通わないといけなため負担が大きい。	親子通所の役割や意義について、必要な保護者に説明していく。児童の現状を保護者に見ていただくことで、現状の理解につながりやすく、また家庭での関り方も一貫することで、児童の戸惑いも少ないことを説明していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こども発達支援センターあすいろ

公表日 令和8年4月25日

利用児童数 51名

回収数 45

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	40	5			とても広くて、部屋がいくつもあるので、皆さんがいる場所に行きたくない時は、別の部屋に行けるのでとても助かります。		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	44	1			児童の人数より職員が多いので、目が行き届き大変安心して、預けています。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	44	1			同じ空間に居たくない場合は、隣の部屋にいたり、マジックミラーになっているので、そこから、みんなの様子を見ることが出来てとても良い空間です。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	43	2			部屋も広くて、綺麗で過ごしやすく、とても心地いい程よい空間で過ごせていると思います。		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	44	1			嫌な時は耳を塞いだりしますが、無理はさせず、参加しなくても同じ空間にるように、スペースを作ったり工夫してくれています。		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	44	1			忠実にやっています。		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	45				よく、子供の事をみていただいて、計画書を立ててくれるので、子供にあった内容になっています。さらに上の課題もチャレンジしてくれるので、成長している事が感じます。		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	42			3	よく子供の事をみて、提案してくれています。		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	44	1			凄く、忠実にされています。		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	42	3			月によって、色々提案してくれているので、子供の出来る！が毎月発見します。		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域でのこどもと活動する機会がありますか。	19	7	8	11	月11については、はっきりとは分からないのですが、下の階にある児童館や隣のこども園遊具や公園などで活動する機会はあります。保育園に通っていないので、支援センターの子供と触れ合うだけです。	敷地内の児童館に行って、他の利用者さんとの交流もありました。	
	保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	45				話し合いをする時に丁寧に教えていただきました。	
		13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	45				話し合いで、丁寧に教えていただけます。	
		14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が行われていますか。	45				子供にあった内容の情報提供をしていただけます。	
		15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	41	4			利用後は、とても丁寧に、あった事を長文で教えてくれます。	
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		41	1		3	何度も面談し、子供の成長にあった支援や、アドバイスをさせていただきます。		
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。		43	2			とても、親身になってくれます。		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていますか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		20	6	1	18		保護者交流会は毎年開催しています。	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。		44			1	されています。子供が家で怪我をしたあとに、支援センターを利用した時も、看護師の方がついていてくれたり、とても安心して預けています。		
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。		43	1		1	定期的に面談にてお話しする機会や送り迎えの際にも色々日々コミュニケーションを取ることができています。子供にあった支援をしてくれています。絵カードで伝える事、教わりました。		
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。		43			2		インスタグラムで毎月のプログラム、給食の献立を配信しています。ホームページと保護者さんとの連絡アプリで自己評	
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	44			1				
非常時 等の 対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	2	1	13		緊急時の対応や、災害時の避難方法については伝えていますが、防犯や感染症マニュアルについては保護者さんに説明は年々3回消防訓練と避難訓練を行っています。	
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	5		14			
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	40	2		3		安全計画に伴って点検は2カ月に一度行っていますが、その結果を周知することはしていませんでした。	
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	36	3		6		どうすを觀察して、速やかに保護者に連絡	
満足 度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	44	1			喜んで行っています。		
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	41	3	1		とても楽しみにしています。行き渋りも全くなく、いつも笑顔で送り迎えができています。最近は先生の名前を覚えており、口にするが増えています。〇〇先生いるかな〜と、先生のお名前やあすいろさんに通うお友達のお名前を口ずさみ眠りにつくことも多いです。事業所に向かう道中も先生の名前やお友達の名をよく連呼したりして、本当に楽しく通っているんだと感じます。安心で、安全な場所と言う認識をしています。		
	29 事業所の支援に満足していますか。	45				とても信頼しています。各専門の職員さんが個別に療育をしてくださいます。娘の現状の発達を確認しながら課題を提示してくださり家庭での取り組みについてなどアドバイスしていただけます。連絡帳には日々の療育の様子を写真も添えて細やかに伝えてくださいます。子供がどんな様子で過ごしているかがイメージしやすく、とても安心して子供を預けることができています。また、給食の提供があることもとてもありがたいです。給食がある事業所はほとんど聞いたことがありません。私の娘は普段はお弁当を持参しており、他の事業所ではお弁当を食べています。あすいろさんは栄養士さんが手作りで給食を提供してくださり、子供は給食を楽しみにしている様子で、いつも完食してくれます。私の負担も軽くなり、栄養バランスも整い、療育の観点からもとてもありがたいです。中部地区にも事業所が増えてほしいです。とても、子供の事を考えてやってくれているのが分かります。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		子ども発達支援センターあすいろ					公表日 令和8年4月25日	
		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	1		・取り組みや人数によって使い分けられる大小の部屋がある。	・トイレ、手洗い場が少ない。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	1		・いつもゆとりのある人数で支援しています。	・子どもの人数や状態に対して適切でないと感じる時もある。 ・ケアが必要な児に対して、NRSがついているので安心	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	3		・安全や使いやすさに配慮された環境になっている。	・手洗い場の順番を待つ際、シャワーの所へよがったり、段差でつまづく事もあり。 ・字のトイレがあと一つでも増えれば活動がスムーズになるのでは ・バリアフリー化されてるが、手洗い場、トイレ等の高さは利用児に見合わずDIYで出来る事に対応している。また、トイレ・手洗い場数が少ない。 ・部屋の扉に動物の絵をはっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	15			・取り組み活動の度に片付けや簡単な掃除が行われ、一日の最後には隅々まで掃除が行き届いている		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15			・個別やクールダウンの為の部屋が設けられている。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	14	1		・定期的な話し合いが1日3回、週に1日、月に一回と様々な形で行われている。	・あすいろのPDCA、ピンとこない。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15			・母子通所の振り返り、意見箱、お迎え時と保護者と話すタイムはたくさんある。	・毎日の記録システムに保護者がコメントできるようにしているので良い。 ・保護者会を開催している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15			・定期的な個人面談がある。	・職員一人一人の個人面談があり、伝えやすい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12	1	2	・県並びにうるま市から受けています。	・第三評価を見たことがない。→年に一度依頼しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15			・職員研修の機会は沢山あり、希望も出せる。	・法人内での研修会やオンライン研修なども受ける機会がある。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15			・字の特性を伸ばしていくプログラムを職員間で作成できている。 ・HUGにより行われています。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15			・常に事業所内で話し合われており、支援計画につながっています、		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15			・日々、話し合い職員一同共通認識を持って取り組んでいます、	・保育士やリハ職のミーティングや給食委員会などあり、意見交換出来ていると思う。 ・現場職員の周知を丁寧に心がけているが、抜けがあることもある為気を付けていく。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15			・常に支援計画を共有し観覧できる環境にある。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	1		・HUGを使っています。	・標準化されたツールが、アセスとして共有されているといい難い。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15			・この上なく地域とのかかわりがあると思います。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15			・常にチーム一丸となって話し合っています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15			・大枠のフローチャートに沿って常に手直し修正を行い取り組んでいます	・固定化しつつ、ルールを作り、その中で展開をして工夫し、繰り返しを図っている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	15			・日々の少しの変化も見逃さず子供の状況に対応して支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15			・支援開始前後、午後の部、午後の部ともにを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15			・支援開始前後、午後の部、午後の部ともにを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15			・振り返り話し合ってから記録を行い観覧できる事で今後につなげていっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15			・モニタリングの資料作成には全職が関わって取り組んでいます。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15			・相談窓口があります。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15				
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15			該当児童の症例報告会議の議題にも取り上げています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	14		1		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	14		1	・希望も出せる環境にあります。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	14		1		・本年三月より自立支援協議会へ参加予定
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	12		3		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	6		・児童館との交流は、盛んにおこなわれています。	・近隣こども園の園庭を借りるなどの連携はあったが、相手側の子供たちとの交流等は行っていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15			・送迎やレクチャーなどの機会に話し合っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	15			・定期的で開催されています。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15					
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15			・少しでも変化や疑問が生じれば保護者に確認と取っています。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	15			・定期的（3か月）あるいは変更があれば都度、説明と同意を得ています。		

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15				
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12	3		・父母の会はないですが、保護者会などで交流の機会を設けています。	・前年度はあったが今年度は出ていない気がする。→行っています。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	15				
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	1			・送迎表が開きっぱなしで、外部から名前等が見えている事がある。施設内でも誰が見ているか分からないので、ひらがなにしたり一部分からないように記入した方がいいと思う。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	6			・機会がない
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	1	1	・定期的に行っている。	・家族マニュアルを周知しているかわからない。 ・感染症対策マニュアルを作成し把握、保護者への周知できるようにしておきたい
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14	1		・看護師の下、周知徹底しています	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15			・管理栄養士が窓口となり指導の下、全職員が対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14		1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14	1			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14	1		・定期的に話し合いと入職時にも行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	13	1	1		・保護者に理解を得ているのかわからない→保護者と事前に話し合い、やむをえない場合は安全確保のために行う可能性があることを了承していただき、個別支援計画に記載しています。	